※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3022 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 文学国語 | 単位数 | ３単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校　標準　文学国語（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | 新改訂　最新国語便覧（浜島書店）<br>五訂版　漢字検定５～２級対応　常用漢字ダブルクリア（尚文出版） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小説を中心に文章を的確に読みとる力や語彙力、内容への感受性を身に付ける授業です。日頃から読書をし、文章を読む習慣をつけてください。
・文学作品に興味を持って参加してください。著者による特徴や世界観の違いといった相違性に気をつけて文章を読みとってください。
・自分の感じたことを大切にしてください。文章に関することも大切ですが、自分の感じたことをどう活かせるかという点も授業で扱います。
・日本漢字能力検定５級から２級までの漢字や日本文学史（文豪）について学習します。小テストも実施しますので、日ごろから継続して学習に取り組んでください。
・提出物の期限は必ず守ってください。提出遅延のないように、計画的に課題をこなしてください。

## 2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 | 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている | 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 分野<br>箇所 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 第Ⅰ部<br>現代の<br>小説<br>（二） | 時間経過による心情や行動の変化を追い、題名に込められた意味を考える。<br>［教材］<br>相棒 | a：文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解し、読書の意義と効用を理解する。<br>b[読]：内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。<br>c：登場人物の心情と行動の変化を時間の順序に沿って読み取り、「相棒」という題名にこめられた意味を考えようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>行動の観察 |
| | 第Ⅰ部<br>近代の<br>小説<br>（一） | 鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。<br>［教材］<br>鼻 | a：文学的な文章の種類や語彙を学び、近代文学史の流れを理解する。<br>b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学び理解する。<br>c：内供の鼻の変化と心情の変化や心理・態度を積極的に読み取ろうとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>行動の観察 |
| | 文学のしるべ | 近代文学史の系譜を理解する。<br>［教材］<br>夏目漱石から芥川龍之介、そして堀辰雄へ | a：各著者の特徴と文学派閥について理解する。<br>b[書]：各著者の特徴や代表作について調べ、その内容を整理しまとめられる。<br>c：近代文学史に興味を持ち、自ら進んでその特徴を知ろうとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート | ワークシート<br>行動の観察 |
| | 第Ⅰ部<br>随想 | 絵画を紹介する文章を読んで、読み手の関心を引き付けるための工夫について考える。<br>［教材］<br>真珠の耳飾りの少女 | a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。<br>b[読]：作品に表れているものの見方や考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を特徴を踏まえながら説明する方法を理解する。<br>c：フェルメールやフェルメール作品に対する向き合い方について具体的にまとめようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>行動の観察 |
| | 第Ⅱ部<br>現代の<br>小説<br>（三） | 文芸的話題や引用が散りばめられた作品から、小説の奥深さを味わう。<br>［教材］<br>富嶽百景 | a：情景の豊かさや心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[読]：他の作品と比較するなどして、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。<br>c：本文中で話材として使われたり引用されたりしている文芸作品を積極的に知ろうとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>行動の観察 |
| 二学期 | 第Ⅱ部<br>近代の<br>小説<br>（二） | 人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。<br>［教材］<br>山月記 | a：心情を表す語句に着目し、その理由や表現の技法について考え理解している。<br>b[読]：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を的確に把握している。<br>c：登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>行動の観察 |
| | 創作をする | 物語が人間にとって持つ意味を考え、表現に注意しながら物語を創造する。<br>［教材］<br>物語を創造する＜物語を発現する力＞ | a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。<br>b[書]:読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。<br>c:他の生徒が創作した物語を評価の観点に沿って適切に批評し、自分の作品を前向きに捉えようとしている。 | ワークシート | ワークシート<br>行動の観察 | ワークシート<br>行動の観察 |

※令和４年度以降入学生用

| 学期 | 分野<br>箇所 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 二学期 | 第Ⅰ部<br>近代の<br>小説<br>(一) | 物事の展開を整理しながら登場人物の心情をつかむ。<br>[教材]<br>こころ | a:心情を表す語句に着目し、その理由や表現の技法について考え、文学的にそれらがもたらす効果を理解している。<br>b[読]:作品の内容や解釈を学び、それらを通して自分自身の感情を再度見つめ、考えを深められている。<br>c:場面ごとの展開と「私」と「K」の心情の変化について積極的に考えている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>行動の観察 |
| | 第Ⅱ部<br>近代の<br>詩 | 詩中の表現をもとにして「悲しみ」とは何かを考え、詩の内容と韻律を深く味わう。<br>[教材]<br>汚れつちまつた悲しみに・・・ | a:詩を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。<br>b[読]:表現上の効果や作品世界に込められた心情などを理解し、解釈の多様性について考察している。<br>c:繰り返し音読し、積極的に詩の構成やリズムを理解しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>行動の観察 |
| 三学期 | 創作をする | 短歌・俳句を読んで文体や表現の技法に注意して、人物の心情や情景を描写する方法を学ぶ。<br>[教材]<br>テーマを決めて短歌・俳句を作る | a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。<br>b[書]:短歌や俳句を創作し、言葉の使い方や心情の伝え方の工夫をしている。<br>c:表現の技法を参考にして、積極的に短歌や俳句を創作しようとし、自分の短歌・俳句の特長や課題を明らかにしようとしている。 | ワークシート | ワークシート | ワークシート<br>行動の観察 |
| | 第Ⅱ部<br>近代の<br>小説<br>(二) | 清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。<br>[教材]<br>清兵衛と瓢箪 | a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。<br>b[読]:作品の内容を踏まえ価値観について考え、現実世界における「価値」について考えることができる。<br>c:当時の物価を積極的に調べたうえで、瓢箪の価格がどんどん上がっていくことの意味について、自分の考えをまとめようとしている。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>行動の観察 |

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　７　）時間

・書くこと　…　（　２３　）時間

・読むこと　…　（　７５　）時間